



藤森圭子氏の研修プログラムでは、社員自身が問題を形にして客観的に見ることで、さまざまな気づきが生まれる。セルフケア力を養い、高めていくための継続したフォローにも注力している。

あるのがIPO(新規上場)の支援だ。「そこまで高められるような労務監査をしていけば専門家としては価値がある」と考えている。

労務監査の根幹となる就業規則の見直しが大事に

有富氏は、特に労務監査を強く打ち出していきたいと言う。「労務監査の根幹になつているのは就業規則だと思います。就業規

則は従業員の方が会社で働くルールではありますが、会社にとっては従業員の方との潤滑油的なものだと言えるでしょう。その会社の労務管理の実態を聞いてみると、就業規則とは違うということが結構あります。ルールとして明確にしておけば、聞いている、聞いていないといったことは、その中で全て解決するものです。もちろん、規則に基づいた運用を行い実態との乖離を把握する必要もあります。まずは就業規則を深く見直し、他の監査項目についても規則に立ち返り改善していくことが、労務監査の大変なところであり、そこからいろいろな課題も見えてきます」

メンタルダウンする前に外在化によるセルフケアを

もう一つ、力を入れているのがメンタルヘルスケアだ。中心となるのは同法人の藤森圭子氏で、企業向けのメンタルヘルスケア、キャリアコンサルティング、スクールカウンセリングを行っている。

「メンタルヘルスケアというと、

この研修プログラムでは、「絵に描く」という手法を使い問題を外在化していく。「悩みなどを虫として描き、その虫に名前を付けて、対処法を考えてもらいます。その後、メンバー間でディスカッションしていくが、その過程でもさまざまな気づきがあります」

メンタルヘルス不調になる前に、どれだけ内にあるものを目に見える形にして外に出すかが大事だという。ここでメンタルヘルス不調の予備軍が見つかれば、カウンセリングも提供している。

今後は、ネットワークをつくってメンタルヘルスケア事業の拡大を図るとともに、スタッフ間での知識面の共有とスキルアップを目指し



有富貴弘 代表

方向性を個々の顧客に対する付加価値の向上へとシフト

社会保険労務士法人 SignPostは、人事労務管理に関する相談に応じるとともに、事業主や労務管理担当者に代わって業務を行うことで貴重な労力を本業に集中できる経営環境を提供している。メンタルヘルスケアにも力を入れており、今後は各業務において、それぞれの顧客に対する付加価値の向上を目指していくという。

最近の労働法制の改正は多岐にわたり複雑化している。それに、「お客様とより深く向き合っていかなければ満足度は得られない」と、社会保険労務士法人 SignPostでは、従来の売上拡大路線から個々の顧客に対する付加価値の向上へと舵を切ろうとしている。

「お客様と向き合うことで、スタッフはこれまで以上に勉強しなければなりません。それがスタッフのスキルアップにもつながります。また、士業の仕事はどうしても属人的になりがちなので、担当していらっしゃるお客様の業界動向、関係する改正法、手続の進捗状況等、スタッフ同士が情報共有できるように組織自体の仕組み化をこれまで以上に進めていきたいと考えています」と、福岡オフィス代表社員の有富貴弘氏は語る。

具体的には、労務管理のシステム化(IT化、DX化等)の提案と、労務監査の強化、そしてその先に

有富貴弘(ありとみ・たかひろ)／代表プロフィール

北九州市出身。神戸のアパレル上場企業人事部勤務を経て、2003年8月社会保険労務士・行政書士合同のアーク総合法務事務所を開設。2016年11月、北九州市の他・大阪市・神戸市にも拠点を置く、社会保険労務士法人 SignPostを開設、代表社員就任。

藤森圭子(ふじもり・けいこ)／プロフィール

社会保険労務士法人 SignPost 神戸オフィスの副所長を務める。社会保険労務士の他、臨床心理士・公認心理師・国家資格キャリアコンサルタントの資格を有し、現在、専門学校や通信制高校のスクールカウンセラーとして、また自治体職員の相談員としてカウンセリングを提供している。



有富貴弘 代表

| 企業 DATA |

企業名	社会保険労務士法人 SignPost(サインポスト)
代表社員	有富 貴弘(福岡オフィス代表社員)
所在地	〒802-0822 北九州市小倉南区横代東町1-1-35 スカイロード21-A
T E L	093-383-9555
設立	2016年11月
業種	社会保険労務士
公式ウェブサイト	https://www.sr-signpost.jp/